

1

スポーツ雪合戦とは？

「雪合戦のススメ」その1



雪合戦は、冬の雪玉遊びがスポーツ競技として発展してきたものです。雪玉は「雪球」となり、日本だけではなく、世界13か国が世界連合に加盟し「YUKIGASSEN」として共通のルールでおこなわれています。



ビーチ雪合戦(札幌/岩手 釜石)



パーク雪合戦(札幌/群馬/鳥取など)



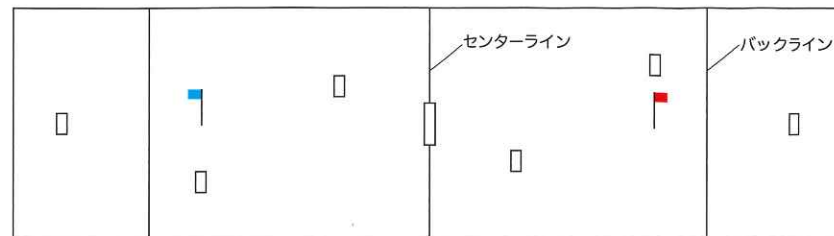
室内雪合戦(広島/島根ほか各地)

日本では全国各地の降雪地域で冬の大会が開催されていますが、冬以外でも通年、体育館や夏のビーチ、芝のパークなど全国各地でおこなわれています。選手が隠れているのが木製のシェルターになります。



雪合戦ルール/コートと用具

正式なルールは1チーム選手7人で対戦。1セット3分、使用する雪球の数は90球です。試合はバックラインに整列して、笛の合図で開始、持てる雪球は2球以内です。1人でも多くの相手に雪球を当てるか、相手のフラッグを抜いたチームが勝ちとなります。(インドアや夏季の屋外では、ローカルルールで試合時間や球数が異なる場合があります)



- 正式なコートサイズ 長辺36m×短辺10m
冬以外では、雪球の代わりにテニスボールや練習球を使用します。



雪合戦ヘルメット



雪球ケース(1ケース45球)



フラッグ・ポール



雪球製造器・製造台



雪合戦ゼッケン



VT戦用雪だるま(代用品可)



練習球(玉入れ用の玉など代用可)



シェルター(昭和新山国際雪合戦)

実際の雪合戦大会では用具はすべて主催者が用意します。自ら行う場合は代用できるもので構いません。最寄りのチーム練習会などへの参加も可能です。(P10に記載)

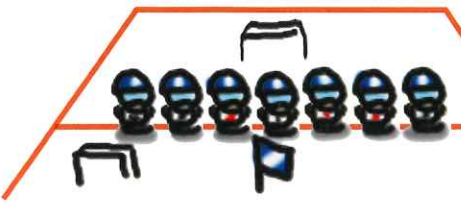
「雪合戦」雪球を当てたらアウト！ まずは、簡単なルールのポイントを確認！



- 正式な大会では、監督1名、選手7名、リザーブ2名を登録
FW=フォワード(ゼッケン1~4番)/BK=バックス(ゼッケン5~7番)



- 試合開始と終了時はバックラインに整列します。
FWの選手はバックラインより後方に下がる事はできません。*
雪球ケースはシャトーの裏に配置し、BK選手が前へ送ります。



※体験ではゲームに慣れるまでFWとBKの区別するルールをなくしても良いです。

バックライン
スタートは片方の足でラインを踏み、笛の合図でスタートします。(P1写真参照)

【選手のアウト】

- 雪球に当たったとき(敵味方を問わず)
- 無効雪球を使用(2/3以下)
- 試合中に雪球を作ったりしたとき
- ラインオーバー/サイドライン、エンドライン、バックライン(FWのみ)



OUT!!



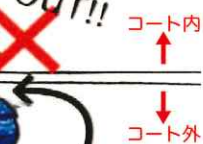
一人でも多く倒した方の勝ち!

OUT!!



足以外ははみ出たらX

OUT!!



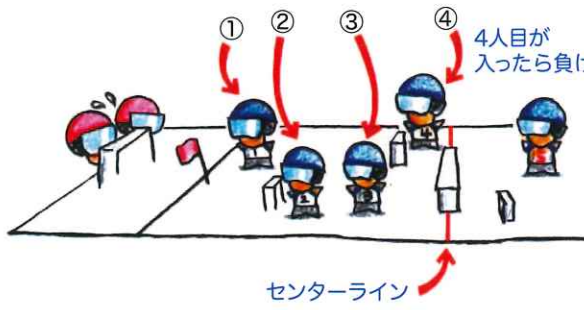
足がはみ出たらX

※正式なルールは、裏表紙のQRコードから確認できます。(昭和新山国際雪合戦 等)

- セットの勝敗は以下の場合です。「**フラッグを抜いたら勝ち!**」
- ・1人でも相手を多く倒す。(残った選手一人1ポイント)
- ・相手全員を倒す(10ポイント)
- ・相手コートフラッグを抜く(10ポイント)
- ・相手コートに入ることが出来るのは3人まで。
- 4人目が入った時点で、そのチームは**そのセットは負け**となります。



フラッグを抜いたら勝ち!



最初は投げ合うことからはじめよう!

体験では試合時間の前半は相手コートに入ることができないルールではじめてみよう。

- 試合の勝敗
- ・2セット先取したチーム(体験では1セットマッチ可)
- ・引き分けの場合は取得ポイントの多いチーム
- ・同数ポイントの場合はVT戦*により決定
- ※サッカーのPK戦の要領で的当て落とし。



VT戦用雪だるま

SAFE



ワンバウンドはセーフ!

●その他のルール

このほかにも、無効雪球、不正雪球など細かなルールがありますが正式な競技規則は、ルールブックで徐々に覚えていきましょう。



雪球を当てたらアウトです



手投げのパス、お手玉もアウト!



味方の球に当たってもアウトです。

■体験では、いろいろなポジションを交代してやってみましょう。コートや試合時間と雪球の数や、選手の人数など簡単なルールに応用しても良いです。体験ではルールに縛られず、まず参加者がシンプルに雪合戦を楽しめる事を優先しましょう。試合で使う雪球も、雪球製造機で作っていきましょう。

3

体験編Ⅰ

「雪合戦のススメ」その3

ステップ2

体験する前にゲームのポイントを復習。

かんたんなルールを再確認し、まずは自由にゲームをしてみることに。体験は2分1セット60球で実施。FWとBKの区別やルールは慣れてからでも良いでしょう。最初のゲームの前にポイントを確認してみましょう。



◎6つのポイント伝授

- | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|--------------------------|--------------------------|
| シェルターに隠れる | センターシェルターを押さえると有利 | 雪球を前へ補給することが必要 | フラッグ奪取は勝利！10ポイント | 相手コートに入ることが出来るのは3名まで | 一人でも多く雪球を当てた方が勝ち |
| ●そのメリットは？ | ●そのメリットは？ | ●そのメリットは？ | ●そのメリットは？ | ●そのメリットは？ | ●そのメリットは？ |
| ●早い球を投げられても隠れていれば簡単には当たらない。 | ●早い球を投げる選手が前にいると攻撃力はアップする。 | ●前の選手の攻撃を止めないためには、雪球を前へ送る。 | ●相手の旗を抜くとセット勝利。セットポイントも有利に。 | ●3人で攻めれば、フラッグ奪取の確立は高くなる。 | ●勝っているか、負けているかを常に確かめること。 |

ポイントを意識して、一度ゲームをやってみよう！

4

体験編Ⅱ

「雪合戦のススメ」その4

ステップ3

ゲーム経験をかさねたら、次に作戦を考えよう！

最初は自由に！相手のフラッグを狙ってみよう！何回かゲームを繰り返したら、ステップ3へ！作戦を考えて攻撃や守備に活用してみよう！

●注意点 ●攻守逆の立場

- 隠れてばかりだと直接アタック攻撃を受けることも。
- 山なりの「ロブ攻撃」が有効。
- 前方からの攻撃は有利だが狙われる確率も高くなる。
- 全員で攻撃を仕掛ける。
- 前の味方が攻撃するためには雪球の補給が必要。
- 補給するタイミングを狙う。
- 負けていても一発逆転！
- フラッグを取ろうとした時に相手が無防備になる所を狙う。
- 注意！4名入ったら負け。
- 攻撃に備えて最後まで迎え撃つ雪球を持っていること。
- 残り時間での攻守の切りかえ。僅差の時の攻守の判断や指示で試合展開を読み動くこと。
- 監督や後方選手の指示が重要。



相手から見えないが相手も見えない。

隠れている相手には山なりのロブ攻撃。

1人じゃなく全員で攻撃！

雪球の補給は、絶対必要。

フラッグ奪取成功はポイントも有利に。4人目進入に注意！

10秒前終了

試合時間で雪球を投げ切る！ポイントリードなら無理な攻撃をしない。

フォワード

FWで「当てる」と「当たらない」を体験してみよう。

フォワード選手の適性／●足が速くすばっこい●速い球を投げられる●コントロールが良い●小柄である●怖がらない●左投げ●反射神経の良さ、などあくまで単純なポイントで記載していましたがバックスも含め、いろいろなポジションを経験してみましょう。

【FWに求められること】

- ・シェルター(壁)入る選手は座ったまま投げ、攻撃をかわすこと。
- ・立ったままの選手は攻撃をかわしながら、相手を攻撃すること。

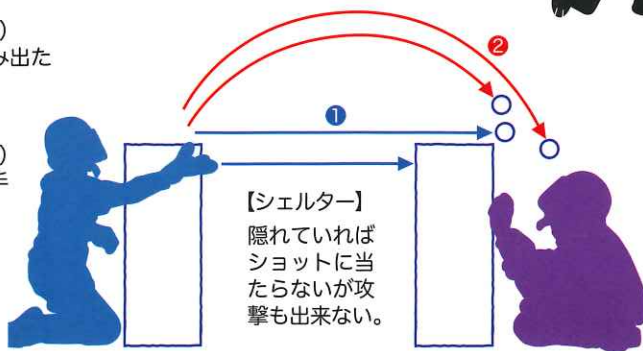


①ショット(速球)

相手の体のはみ出た部分を狙う。

②ロブ(山なり球)

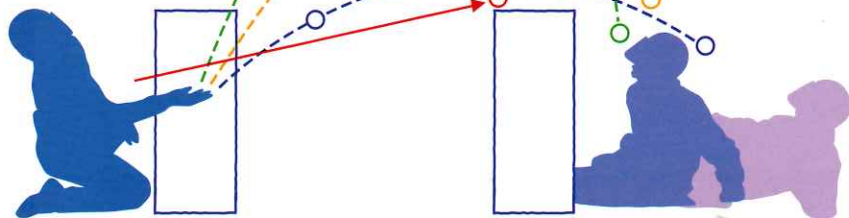
隠れている選手を狙う。



【シェルター】
隠れていれば
ショットに当たらないが攻撃も出来ない。

●ショットは相手が顔をのぞかせるタイミングを予測したり、ロブとの組み合わせで、攻撃してみよう。相手コート他の選手も攻撃してみよう。

●ロブの高さと角度に変化を付け、隠れている相手を揺さぶる。同じように攻撃されるがシェルターになるべく全身を隠して最小限の動きで攻撃をかわす。ことを心がけよう。



- 立ったままのFWはシェルターがない分、狙われやすいので注意しよう。
- 前方のFWの攻撃に合わせて、はみ出た選手を攻撃。ロブも投げてみよう。
- 前方の味方が攻撃を受けているときは相手を攻撃して、味方を援護しよう。

バックス

BKは補給だけでなく、攻撃も自由自在。

バックス選手の適性／●チーム一番で肩が強い●コントロールが良い●体格が良い●冷静な判断●声大きい●左投げ●視力が良い、などこちらも単純なポイントですが、チームメンバーの適性や性格でいろいろ試しながらポジションを決めていきましょう。



【BKに求められること】

- ・FWへの雪球補給とFW同様に攻撃へ参加すること。
- ・FWがアウトになった場合はFWとしてオールラウンドに動く。
- ・相手のフラッグ奪取攻撃を防ぐこと(※最後まで雪球をキープ)
- ・前方のFWへ指示を出すこと。

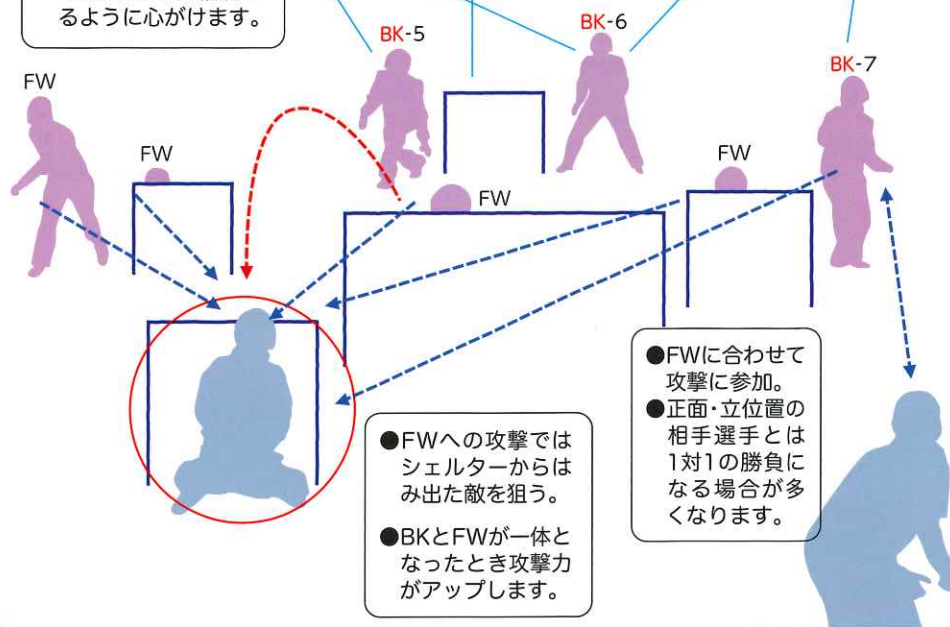
●補給する時は一番、狙われるタイミングなので視線を前方からそらさずシャッターから補給を繰り返します。

●雪球の補給はチームの生命線。味方のFWへ雪球が常に無くならないように補給するように心がけます。

●BK3人がアウトになってしまうと雪球補給ができなくなってしまいます。

●BKは補給をしたら攻撃にも参加。場合によってはFWとしてシェルターに入ることもあります。

●BKは後方から味方全員に注意や指示を出します。



●FWへの攻撃ではシェルターからはみ出た敵を狙う。

●BKとFWが一体になったとき攻撃力がアップします。

●FWに合わせて攻撃に参加。
●正面・立位置の相手選手とは1対1の勝負になる場合が多くなります。